

①経営体の概要

- 所在地:長崎県雲仙市
- 経営体名:(株)吉田花き農園
- 栽培作物:きく(150a)
- 従業員数:家族5人、常勤3人、
実習生6人(中国3人、ベトナム3人)



②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 複合環境制御盤 CO2NAVI(ニッポウ)
- CO2発生装置(ダイキン)
(ブローア、株間配管によるCO2の局所施用)
- ヒートポンプ、自動かん水装置、自動換気装置、自動被覆装置
- 環境モニタリング装置(アグリログ、ウルトラエース)

③導入の経緯

- これまで「勘」に頼っていた栽培管理をデータで見える化し、単収・品質の向上、労力軽減を図るために、環境制御装置を導入。



④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- 次世代施設園芸拡大支援事業(国)
- 産地パワーアップ事業(国)

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- CO2の局所施用により、単収・2L率が向上し、出荷本数を増やすことができた。



- ハウス内の環境を整えることで「きく」が健全な状態になり、病害が少なくなり、農薬散布の回数も減って経費の節減に繋がっている。
また、作業の自動化により、労力の軽減が図られている。

- 仲間と勉強会を開催することにより、お互いの技術向上を図るとともに、環境モニタリング情報を共有してトラブル防止にも役立てている。

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 導入コストを取り戻すために、収量アップと品質の向上、コスト以上に売り上げを伸ばすという考えで、日射比例かん水装置も導入予定。

- 規模拡大のために土地は確保したものの、ハウスの資材などが高騰しており、新設については様子見の状態。